

オーリンゲンアカデミー報告書

十文字学園女子大学 2年 高野美春

○遠征日程

6月24日 am11:30 日本発

6月24日 pm22:20 スウェーデン、ゴテンバーグ着

6月26～28日 トレーニングキャンプ

6月30日～7月6日 JWOC本戦 7月7日 JWOC閉幕

7月7～15日 観光（スウェーデン、デンマーク、オランダ、ベルギー、フランス、ドイツ）

7月16日 オーリンゲンアカデミー集合、開会式

7月17～26日 オーリンゲンアカデミー

21～25日 オーリンゲン本戦

※アカデミーは25日で早退。

7月27日 日本帰国

○内容

- ・ オリエン技術のレベル分けについて。
- ・ 初心者への指導法
- ・ どうオリエンテーリングを広めていくか。イギリスの協会の方の講義
- ・ テリージョルジョ、スイスの代表選手による講義
- ・ オリエンテーリング前のアップ方法
- ・ 実際に山に入っのトレーニング（ランオブ等）
- ・ スウェーデンの小学校で行われているオリエンテーリングの授業について
- ・ 小学校でオリエンテーリングをどう教えるか、計画を立てて実際にワークショップを開いた。
- ・ GPSについての講義
- ・ オーリンゲン大会への参加、その後のアナリシス
- ・ ファーム見学
- ・ 大ヘラジカ（ムース）パークの見学

○ オーリンゲンアカデミーに参加して

今回のオーリンゲンアカデミーでは、ジョルジョ選手の話聞くことができた。ジョルジョ選手は父親の影響でオリエンテーリングを始め、15歳でJWOC初出場、17歳でWOCに初出場した。またその世界大会への早いチャレンジが自分にとって良かったと話していた。確かに15歳でのJWOC出場は、例年の年齢層を見ても早いと言える。そして2年でWOCへチャレンジ。この2年間のトレーニング量のグラフを見たが、年々、徐々にトレーニング量が増えていっており、2年間という期間を見据えてトレーニングをしていたことが分かった。それだけ強い気持ちを持って、WOCの舞台に上がって行ったのだと思うと、すごい。この一言に尽きてしまう。

しかし、数々の好成績を残しているジョルジョ選手にもブランクがあり、自分のオリエンテーリングのやり方を変えたことがあったと話していた。またフィジカル面だけではなく、メンタル面にも気を使っていたのが印象的だった。

ジョルジョ選手の話聞き、オリエンテーリングとの関わり方が明確だと感じた。すごく誇りを持ってオリエンテーリングをし、世界のチャンピオンになりたいという強い思いで取り組んできたということが随所で感じられた。勝ちたいという気持ちを強く持つことはすごく大切だと思う。常に長期的な目標を持ち、オリエンテーリングと関わっているジョルジョ選手は、今の私にとって眩しかった。

また、アカデミーの中で、2007年のJWOCスウェーデン代表の女の子と出会うことが出来た。同じ年のJWOCerということもあり、彼女には親しくしてもらった。そして彼女には、よくアナリシスを見てもらった。自分には見えなかった大胆なルートをとる彼女とのアナリシスはすごくためになった。彼女は今、WOCの代表になるためにトレーニングを積んでいると話していた。JWOC出場後はケガなどにも悩んだそうだが、オリエンテーリングの話をしているとき、すごく楽しそうに話すのが印象的だった。上を目指す同年代の知り合いが増え、良い刺激となった。

私はこのオーリンゲンアカデミーを通して、色々な人と出会った。そしてオリエンテーリングには色々な関わり方をしている人がいることを改めて感じた。一番目につくのは、トップ選手たちだったが、ジョルジョ選手のようにトップを目指して頑張っているキッズ・ジュニアの選手や、楽しそうに会場を歩いているたくさんの家族オリエンティア、クラブチームの人に一生懸命指導しているおじいちゃんコーチ、オーリンゲンを運営するクラブチームの方々…そして今回、オーリンゲンアカデミーの開催を一手に引き受けてくれたクラブチームの方々。

本当にたくさんの方がオリエンテーリングに様々な形で関わっていた。こんなにも様々な年齢の人がそれぞれの関わり方ができるスポーツはそうないと思う。

これから先、私自身もオリエンテーリングと自分なりに関わり、楽しんでいきたい。またオリエンテーリングとどんな形であっても関わり、楽しむ人が増えてほしいと思う。